

避難の円滑化に係る避難退域 時検査場所の運用について

平成30年5月23日

検討項目

1. 綾部PA(あやべ球場)における混雑時の対応について
2. 美山長谷運動広場における大型バスの対応について

1. 綾部PA(あやべ球場)における混雑時の対応について

【課題】

○高浜地域の原子力防災訓練実施(平成28年8月)に伴う成果報告書に、「綾部PAの開口部の幅が狭いため、車両の導線が一部重なり一方通行とならない箇所があった」と課題として指摘されている。

■現状の問題点

- 右図の①、②部分が狭く、一方通行の確保が困難
- あやべ球場内で検査後、①の緊急開口部から綾部PAに戻った後、再度検査を実施するなどの対策が必要
- 流入車両数によっては、緊急開口部付近にて渋滞する可能性有り

綾部PA・あやべ球場における避難退域時検査のレイアウト案



1. 綾部PA(あやべ球場)における混雑時の対応について

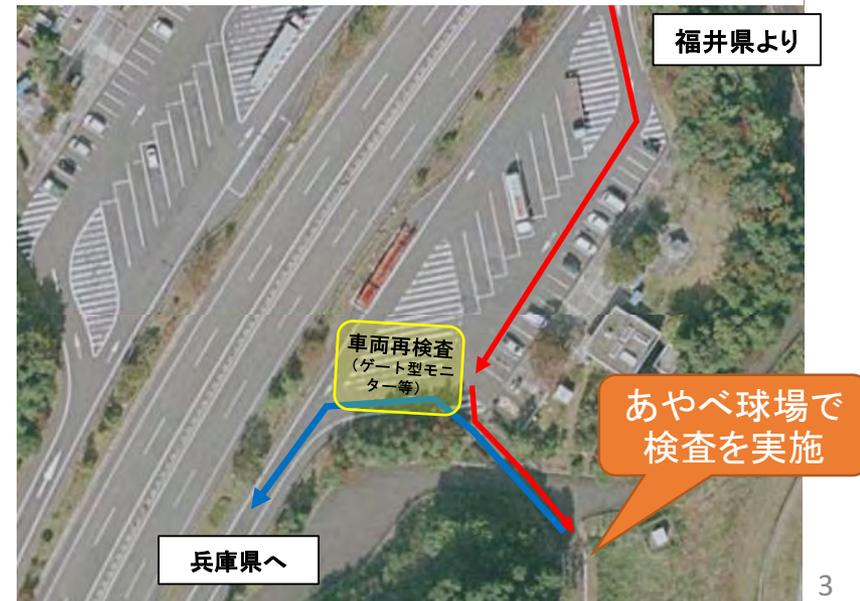
【対応方針】

1. 綾部PA周辺が渋滞しない限りにおいては、現状のレイアウト案のとおりとする。その上で、あやべ球場内で検査後、緊急開口部から綾部PAに戻った後、再度検査を実施する。
2. 渋滞するような場合には、渋滞を解消する範囲内において、一部車両をあやべ球場から下道を活用し、綾部安国寺ICから高速道路に再度流入する新規経路を活用する。

1. について

- あやべ球場内で検査後、緊急開口部から綾部PAに戻った後、再度検査を実施

綾部PAにおける再検査のレイアウト案



1. 綾部PA(あやべ球場)における混雑時の対応について

2. について

- 一部車両をあやべ球場から国道27号線を活用し、綾部安国寺ICから高速道路に再度流入
- 避難車両が迷うことなく綾部安国寺ICまで行けるよう、誘導員や看板の配備を実施
- 綾部安国寺ICにおける再流入の際には、ETCゲート等の対応が必要であるため、NEXCO西日本及び京都府道路公社とも連携し対応

綾部PA・あやべ球場から綾部安国寺ICまでの経路



2. 美山長谷運動広場における大型バスの対応について

【課題】

○美山長谷運動広場までの市道が狭く、また、避難退域時検査終了後に通過する萱野橋が9トンまでと車両重量制限があることから、車両重量9トンを超える大型バスは狭い市道に戻らなければならない箇所がある。

■現状の問題点

- 右図の①部分が狭く、また、②の萱野橋が9トン制限となっており、大型バスが通行不能であることから、検査終了後、①を戻ることとなり、一方通行の確保が困難
- ①を戻った後、再度検査を実施するなどの対策が必要

美山長谷運動広場までの流入経路



2. 美山長谷運動広場における大型バスの対応について

【対応方針】

○美山長谷運動広場を検査場所として使用する際は、大型バスは使わず、乗用車及び車両重量9トン以下のマイクロバスを使用。

美山長谷運動広場における避難退域時検査のレイアウト案

- 避難退域時検査終了後に通過する萱野橋が9トンまでと車両重量制限があることから、当該検査場所へはマイクロバスを使用
- マイクロバスの手配、確保は福井県にて実施

